小学校第2学年 学級活動指導案

日 時： 平成31年 1月 30日（水）

対 象： 小学校 2年

指導者： T1 学級担任

T2 栄養教諭

1 題材 「なんでもたべて元気いっぱい」

活動内容（2）エ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材設定の理由

成長期の児童にとって、毎日元気に活動するためには、好ききらいなく何でも食べることが大切である。しかし、給食の様子や残菜の内容からも野菜に対して苦手な意識をもっている児童が多い現状がうかがえる。

平成24年度に行った地域食生活アンケートの結果では、『自分が一日に食べている野菜の量についてどう思うか』という質問に5割の児童が「あまり食べていないと思う」と答えており、子ども自身が日々の食生活の中で野菜が不足していることを認識している。また、『野菜をどのように食べていきたいか』という質問には、「あまり野菜を食べていない」と答えた児童の多くが、「今よりも野菜を食べたい」と答えており、苦手な野菜を食べようとする意欲があることがうかがえる。

本時の学習では、給食の献立を振り返り、それぞれの食べものの栄養に関する特徴をつかみ、食べものへの興味・関心を高めたい。また、給食には、野菜がたくさん使われていることやそれぞれの食べもののはたらきにより体の健康が守られていることを知らせ、好ききらいなく何でも食べることが、健康な体をつくるためには大切であることに気付かせたい。そして、少しでも苦手な食べものをがんばって食べようとする意欲をもたせたいと考え、本題材を設定した。

3 題材の目標

- ・食べものに関心をもち、きれいなものも食べようとする意欲をもつことができる。
- ・食べものには3つのはたらきがあることを知る。

4 題材の評価規準

- ・食べものに関心をもち、きれいなものも食べようとする意欲をもつことができている。
(集団活動や生活への関心・意欲・態度)
- ・苦手な食べ物を少しでも食べる方法を考え、実践している。
(集団の一員としての思考・判断・実践)
- ・食べものには3つのはたらきがあること理解している。
(集団活動や生活についての知識・理解)

5 食育の視点

毎日元気に過ごすために、好ききらいせずなんでも食べることが大切であることに気付く。
(食事の重要性)

6 指導計画

- ・事前指導……好ききらいに関するアンケート
- ・本 時……学級活動「なんでもたべて元気いっぱい」
- ・事後指導……給食指導

7 本 時

(1) 目標

- きらいなものでも食べようとする気持ちをもつことができる。
- 食べものには3つのはたらきがあることを理解することができる。

(2) 展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	◎評価規準 ◆方法
導入 5分	1 クラスのアンケートの結果を知る。	○ 好ききらいのアンケートの結果を示し、自分の食生活を振り返らせる。(T1) ○ 自分の問題として考えていこうとする気持ちをもたせるために、苦手な食べものについてその理由を挙げさせる。(T1)	◆発表・観察
展開 30分	2 食べものの3つのはたらきを知る。 3 好きな食べもの・きらいな食べものを3つのはたらきに分ける。 4 栄養教諭の話聞く。	○ 食べものはたらきをイラストなどを使って分かりやすく説明する。(T1・T2) ・もりもりパワー (エネルギーのもと) ・ぐんぐんパワー (体をつくるもと) ・いきいきパワー (体の調子を整えるもと) ○ アンケートから分かった好きな食べものときらいな食べものを、カードを使って3つのはたらきに分けていく。(T1・T2) ○ いろいろな食べものを食べることの大切さについて理解を深めるために、給食を作っている立場からその思いや願いも交えながら話す。(T2)	
まとめ 10分	5 今日の学習を振り返り、これからがんばりたいことを発表する。	○ 苦手な食べものを少しでも食べられるようにするために、自分ががんばれることを考え、発表させる。(T1)	◆発表 ◎ 苦手な食べものを少しでも食べるための方法を考えている。(思考・判断・実践)

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断させる状況	自らの食生活を振り返り、好ききらいをなくすためのめあてを進んで考えることができている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	食べものはたらきを説明するとき、できるだけ児童に分かりやすいようにイラストや図などを使って説明をする。

(4) 板書計画

なんでもたべて元気いっぱい		イラスト	イラスト	イラスト
アンケート結果 すきな食べもの	アンケート結果 きれいな 食べもの	もりもりパワー	ぐんぐんパワー	いきいきパワー
	わけ ・まずいから…	好きな食べもの ※イラストをはる		
○きれいな食べものを食べるために がんばりたいこと ・すこしずつ食べる ・すきなものといっしょに食べる ・はなをつまんで食べる…		きれいな食べもの ※イラストをはる		

※指導案細案

- ・ 食べ物のほたらきの説明（展開2）

みなさんはいろんな食べものをおいしくいただくことで、毎日元気に学校でお勉強したり、お友達と遊んだりすることができます。それは、食べものの中にみなさんの体を元気にしてくれる3つの元気パワーが隠されているからなのです。では3つの元気パワーってどんなパワーなのでしょう。今から一緒にお勉強しましょう。

一つ目のパワーは、「もりもりパワー」です。名前のおり、もりもりパワーをもっている食べものを食べると、元気がもりもり湧いてきて、元気いっぱい遊んだり、お勉強したりすることができます。ごはんやパン、お芋を食べるとみなさんの体でもりもりパワーが湧いてきます。

二つ目のパワーは、「ぐんぐんパワー」です。ぐんぐんパワーをもっている食べものを食べることで、みなさんの体はぐんぐん大きくなることができます。ぐんぐんパワーは、お肉やお魚、卵や牛乳などの食べものもっています。

三つ目のパワーは、みなさんのおなかがいきいき元気になる「いきいきパワー」です。いきいきパワーは、野菜や果物がたくさん持っていて、みなさんのおなかをいきいき元気にしてくれるので、うちが出やすくなったりします。

3つの元気パワー「もりもりパワー」・「ぐんぐんパワー」・「いきいきパワー」を食べものもっていることが分かりましたか？では、今からみなさんに聞いた好きな食べものときらいな食べものは、3つの元気パワーのうち、どのパワーをもっているのか、いっしょに考えてみましょう。（展開3へ）

それぞれの食品群も、すべて伝えるのではなく、分かりやすい食材のみを伝えるようにする。もし、好きな食べもの・きれいな食べもので上記の説明の中に出てきた以外のものがあつたときは（例：お菓子とかきのこなど）、好きな食べもの・きれいな食べものを分けていくときに説明する。

- ・ 展開3は、担任教諭とともに、児童の意見を聞きながら行う。班活動は低学年では難しいため、担任教諭にどのパワーをもっている食べものか聞いてもらい、栄養教諭（学校栄養職員）が正解を答える流れで行う。
- ・ 栄養教諭（学校栄養職員）の話（展開4）

みなさんの好きな食べもの、苦手な食べものを3つの元気パワーのなかまに分けてみましたね。好きな食べものには「〇〇パワー」のものが多くて、きれいな食べものには「〇〇パワー」のものが多かったですね。いつも給食の時間に担任の先生が何でも栄養があるから残さないように食べようねと言ってくれていると思います。それは、さっきお話した3つの元気パワー「もりもりパワー」・「ぐんぐんパワー」・「いきいきパワー」を、それぞれ違う食べものもっているからなのです。私が給食の献立を考える時も、みなさんに毎日元気に学校に来てほしいので、3つの元気パワーがとれるようしています。3つの元気パワーがそろふことで、みなさんは毎日元気にがんばることができます。苦手なものが給食でもお家でも出てくることもあるかもしれませんが、一口ずつからでもよいのでがんばって食べてみましょう。好きなものと一緒に食べたり、お鼻をつまんで食べたり、いろいろがんばって食べるための方法もあるので、チャレンジしてみてくださいね。

低学年のため、きれいな食べものを食べるための具体的な方法も伝えてみる。また、給食への思いだけでなく、家庭でもきれいな食べものを食べようとする意識をもたせるために、家庭についてもふれる。

- ・ まとめでは、給食時に指導に訪れることを伝え、継続した意識啓発が行えるようにする。